

ナイスケアだより

第131号

令和5年4月発行

コロナウイルス感染症が少しずつ落ち着く中、地域のさまざま活動が再開されています。市民団体や社会福祉協議会など参集してのサロンやカフェが開催されるようになりました。

ナイスケアでも地域交流の一環で男性高齢者に特化したサロン『グランパの会』に協力員として参加しています。『グランパの会』は地域の男性高齢者が10名前後参加し、月1回のペースで行われています。実際に開催会場に集まる方とオンラインでパソコンやスマートフォンから参加する方に別れる『ハイブリット開催』となっています。前回の会では旅行先のハワイからオンラインで参加した方もいたそうです。毎回テーマを決めて意見交換をしたり参加者の近況報告等を話題に会が進められていきます。男性ならではの仕事上の専門性・科学技術・歴史的な観点などからの深掘した意見が多く出るので、参加している職員も大変勉強になると報告があります。参加される方の中には、東海道五十三次の宿場を歩いて行く計画を立てている方もいらっしゃる、バラエティーに富んだ方々が集まっている会だそうです。

地域共生社会を国が目指す中、地域住民同士の繋がりやともに創っていく街作りが求められています。ナイスケアとしても今後も地域の街作りに積極的に参画していきます。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～イベント参加～

3月に東京国際展示場で介護用品展・介護テクノロジー展が開催されたので行ってきました。

介護業界ではおなじみの会社から新しく参入する会社まで様々な会社が出展していました。展示内容も、あると便利と感じる物から使用方法が限定されると感じる物まで様々でした。私はケアマネジャーとして働いているので担当させて頂いている方の顔を思い浮かべながら『この商品は〇〇さんにお勧めしたいな』と思いながら見させて頂きました。テクノロジー展では時代が進んでいる事が感じられました。事務時間を短縮して向き合う時間を長く取れればと思います。

ここ数年、コロナ禍で外出制限があり、イベントに参加できませんでした。しかし、最近は街中を見てもイベントの再開が多くなってきたと感じます。コロナウイルスの脅威は変わらないのかもしれませんが、折り合いをつけて外出できたらと思います。

今後も様々なイベントに参加して見識を広め、仕事に役立てていきたいです。

高岡 創